

## 平成 27 年度 第 3 回学校問題解決サポートセンター講演会 実施状況

- 1 日時 平成 27 年 11 月 19 日 (木) 午後 2 時から午後 4 時 45 分まで
- 2 場所 東京都子供家庭総合センター 6 階大研修室他
- 3 内容
  - (1) 挨拶
  - (2) テーマ別事例検討
  - (3) 質疑応答・助言
- 4 参加者数 40 名 【区部 21、市部 11、都立学校 8、(管理職 19、統括・指導主事 5、主幹教諭 3、主任教諭・教諭 6、関係機関 7)】

### 5 事例検討

#### 第1分科会「インターネット上に拡大する学校問題にどのように対応するか」

ネット上に児童・生徒の個人情報が出た場合、学校は様々な対応を同時並行で求められます。

弁護士と警察 OB から事実確認や児童・生徒への指導、ケア、保護者への対応、削除要請等について助言をいただきました。



#### 第2分科会「児童・生徒間トラブルから拡大する学校問題にどう対応するか」

児童・生徒間のトラブルは、根本的な解決ができずに経過すると問題が多岐にわたる傾向にあります。

いじめへの初期対応や適切な生活指導、特性に配慮した校内体制について法的な側面からの助言をいただきました。



#### 第3分科会「医療的側面をもつ学校問題にどのように対応するか」

特性のある児童・生徒を医療等につなげることができずに経過すると、周囲の児童・生徒との衝突や保護者間のトラブルに発展することは少なくありません。保護者の障害受容がすすむにはどんな取組があるか、医療や法的な側面から助言をいただきました。



### 6 参加者のアンケートから

- ・具体的な事例を検討するため、(他グループの意見も含めて) 参考になるとともに、学校での実践に直結する役立つ機会であった。
- ・今回の資料を校内研修に活用したい。対応しているケースに似ており、対応のヒントとなった。
- ・専門家の助言をじかに聞ける機会は大変、貴重である。また参加したい。
- ・学校問題解決サポートセンターの事業を、活用していきたいと感じた。